

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2005-148765(P2005-148765A)

【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2005-2560(P2005-2560)

【国際特許分類第7版】

G 0 3 G 15/16

B 6 5 H 5/38

G 0 3 G 15/00

G 0 3 G 15/08

【F I】

G 0 3 G 15/16 1 0 3

B 6 5 H 5/38

G 0 3 G 15/00 5 1 8

G 0 3 G 15/08 5 0 5 Z

G 0 3 G 15/08 5 0 7 D

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月24日(2005.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

像担持体に形成された静電潜像をトナーにより現像する現像手段と、
 現像されたトナー画像を記録媒体に転写する転写手段とを有し、
該トナー画像が記録媒体に転写された後に生ずる未転写トナーを回収して前記現像手段
に戻し再利用するようにした画像形成装置において、
前記トナー画像は、前記現像手段が対向する前記像担持体上の領域で現像されるもので
あり、

前記転写手段は、ローラに巻き付けて張架された無端状のベルトであり、
該ベルトのローラに巻き付けられている領域と前記現像手段が対向する前記像担持体の
領域との間に配置されてあって前記記録媒体を転写位置に案内する転写ガイド手段を導電
部材とし、

該転写ガイド手段を電氣的に接地したことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するために、本発明は、像担持体に形成された静電潜像をトナーにより
 現像する現像手段と、現像されたトナー画像を記録媒体に転写する転写手段とを有し、該
トナー画像が記録媒体に転写された後に生ずる未転写トナーを回収して前記現像手段に戻
し再利用するようにした画像形成装置において、前記トナー画像は、前記現像手段が対向

する前記像担持体上の領域で現像されるものであり、前記転写手段は、ローラに巻き付けて張架された無端状のベルトであり、該ベルトのローラに巻き付けられている領域と前記現像手段が対向する前記像担持体の領域との間に配置されてあって前記記録媒体を転写位置に案内する転写ガイド手段を導電部材とし、該転写ガイド手段を電氣的に接地したことを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項1の構成によれば、転写・搬送装置の手前側ガイド部材の転写紙の摺擦による帯電を無くし、感光体トナー像から、紙粉とトナーが逆飛翔して堆積することを防止でき、“トナー落ち画像”の無い安定した画像を提供することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】